

専門看護師・認定看護師 NEWS

Vol. 10

2020年2月発行



独立行政法人 国立病院機構
福岡東医療センター

がん看護専門看護師 土井晴代 (総合支援センター)

今月はがん看護専門看護師がニュースを担当します。
『専門看護師』には、11の分野がありますが、
私は、「がん看護」を専門分野としています。

現在、総合支援センター（地域医療連携室・入院
支援室・がん相談支援センター）に所属しています
ので、がん治療や看護に関すること、がん以外の方
のご相談や在宅医療の支援等を行っています。



今回は、「人生会議」について紹介したいと思います。

近年では、人生100年時代と言われますが、健康
な時、病気の治療中、当事者として、家族として、
地域の住民として、誰かの友人知人として等々、
いろいろなところで人生について考える機会がある
と思います。

しかしながら、「人生の最終段階」に、どのような
医療を受けたいか、どこで、誰と過ごしたいか。
してほしいこと、してほしくないこと等々を、周り
の方と話し合われている方は、案外多くはありませ
ん。また、いろいろな局面で気持ちは変わります。
「なぜそう思うのか」それを周りの方に知ってもら
うことが大切です。

病気になることは避けられないかもしれませんが、
病気であっても、自分のことを自分で決めることはできます。
そして、自分にとって大事な方たちに、自分の気持ちや、希望を知ってもらうことで、安心して
生活を送ることができると思います。



「アドバンス・ケア・プランニング (ACP)」ということばを聞いたことがありますか？『わたしの意思 (気持ち)』をまわりの人たちと共有することをさしてします。
カタカナで、馴染みが少ないかもしれませんが、昨年『人生会議』とネーミングされた
「もしものときの話し合い」は、さまざまな方法で、地域や医療機関、施設などで取り
組みや学習会が開催されています。気になるものに参加してみませんか？

人生の終わりまで、あなたは、どのように、過ごしたいですか？

もしものときのために
ACP 人生会議 「人生会議」

～自らが望む、人生の最終段階の医療・ケアについて話し合ってみませんか～
11月30日 (水) 10時～12時 (無料) は人生会議の日

話し合いの進めかた (例)

誰でも、いつでも、
命に関わる大きな病気やケガをする
可能性があります。

命の危険が迫った状態になると、
約70%の方が、
医療やケアなどを自分で決めたり
望みを人に伝えたりすることが、
できなくなると言われています。

自らが希望する医療やケアを受けるために
大切にしていることや望んでいること、
どこでどのような医療やケアを望むかを
自分自身で前もって考え、
周囲の信頼する人たちと話し合い、
共有することが重要です。

あなたが大切にしていることは何ですか？

あなたが信頼できる人は誰ですか？

信頼できる人や医療・ケアチームと話し合いましたか？

話し合いの結果を大切な人たちに伝えて共有しましたか？

心身の状態に応じて意思は変化することがあるため
何度でも繰り返し考え話し合います

もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて、
前もって考え、繰り返し話し合い、共有する取組を
「人生会議 (ACP: アドバンス・ケア・プランニング)」
と呼びます。
あなたの心身の状態に応じて、かかりつけ医等からあなたや
家族等へ適切な情報の提供と説明がなされることが重要です。

このような取組は、個人の主体的な
行いによって考え、進めるものです。
知りたくない、考えたくない方への
十分な配慮が必要です。

詳しくは、厚生労働省のホームページをご覧ください。
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_02783.html

私たち専門看護師・認定看護師は、患者さん・ご家族が、安心できる療養環境を提供できる
看護実践に向けて努めていきます。ご相談等は、遠慮なくお声をおかけください。